

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
数学	数学	東京書籍

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「考えてみよう」「調べよう」、例、問を通して、学習内容を確実に理解できるようにすると共に、巻末には数多くの補充問題を位置付け、基礎的・基本的な知識及び技能が身に付くように配慮されている。 ・「深い学び」が単元に位置付けられており、問題解決の過程に沿って学習に取り組むことで、思考力・判断力・表現力が身に付くよう工夫されている。 ・数学的な見方・考え方にマークを記し、問題解決において見方・考え方を働かすことが意識できるようによく工夫されている。巻末に見方・考え方を働かすことができる問題が取り上げられている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では学習意欲が喚起されるような問題を提示したり、「学びをふりかえろう」「学びを広げよう」を通して、学習したことを日常生活に生かせるようにしたりする等、よく工夫されている。 ・巻頭に大切にしたい数学の学び方を位置付けている。単元の導入の問題で生じた疑問から単元の学びが始められるようにされていたり、問題解決の着眼点が吹き出しで示されたりしており、よく工夫されている。 ・節末の「節の問題」、章末の「章の問題A、B」は、個の学習状況に応じて多様な問題に取り組めるよう工夫されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、シミュレーションを視聴することができるデジタルコンテンツとリンクする工夫がなされている。また、実社会のデータを取り上げ、それを活用して問題を解決する学習が位置付けられている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・適度な余白があるため読みやすく、座標平面が大きくてグラフがかきやすい。また、教科横断的な視点が大切にされ、他教科の学習と関連のある内容についてはマークを記す等よく工夫されている。 ・表紙、内容ともしっかりとした造本である。付録は厚い紙で丈夫に作られており、切り取りやすく簡単に組み立てやすいように十分配慮されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・「考えてみよう」「調べよう」と例、問の繰り返しで、生徒が進んで学ぶことができるようよく配慮されている。また、問題の量や難易度等に配慮がなされており、基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付く工夫がなされている。 ・日常生活や他教科の学習と関連付けた問題に取り組むことができるように構成されたり、それらに関連した事柄がデジタルコンテンツで視聴できるようにされたり等、生徒の学習意欲が向上するように工夫されている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
数学	数学	大日本図書

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・全領域において、「活動」「例」「例題」などを配列し、生徒の数学的活動を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させるための配慮が十分なされている。 ・思考力、判断力、表現力を育むために、6人の中学生が登場し、生徒がより数学的思考を活用していくために、十分によい手助けとなっている。 ・各単元の内容を徐々に難易度を上げながら定着できるように、適切な質と量で大変工夫された配列となっている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・学習開始時に、「考えよう」や「活動」といったタイトルをつけていることが、生徒の学習意欲の喚起につながっている。 ・教科書に直接書き込むスペースがあり、その活動から生徒の思考をより深めていく構成となっており、生徒が教科書から主体的に数学の学び方を十分に身に付けられるものとなっている。 ・巻末の「補充問題」では、多くの問題が掲載され、家庭においても生徒自ら反復練習ができるよう十分な配慮がされている。さらに、「知りたい!高校ではどんな数学を学ぶのかな?」を掲載して、将来の生徒の学びの連続性を更に高めている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトウェアの具体的な操作の手順を掲載するなど、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段の活用能力を十分に高める内容となっている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントが採用しており、文字の大きさ、字間、行間、印字の濃さが生徒にとって大変見やすい印刷となっている。特に1年生では、使用している文字を大きくするなど、発達段階に応じた配慮がなされている。また、環境に配慮した紙や植物油インキを使用するなど、環境やアレルギーに対する配慮がなされている。 ・教科書側面が、領域ごとに色分けがされており、生徒が教科書を取り扱いやすいように十分な配慮がなされている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方や教科書の使い方、ノート指導などの学び方についての内容が掲載されており、生徒に十分かつ適切に学びの指導ができるように工夫されている。 ・「たしかめよう」や「補充問題」などの補足的な内容から、「力をのばそう」や「レポートを書こう」などの発展的、探究的な内容まで、生徒が理解度や興味・関心に応じて取り組み、学力の向上ができるような工夫が十分になされている。

様式2

教 科	種 目	発 行 者
数学	数学	学校図書

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・例題や習熟問題の右には、その問題に関わる既習内容やページ数が記載されており、学び直しができるよう工夫されている。 ・男の子と女の子のセリフや「見方・考え方」の吹き出しなど、思考を促す言葉が多く設けられている。また、レポート例等もあり、相手を意識した表現の仕方が学べるよう工夫されている。 ・統合的・発展的に課題を解決する力を伸ばすために、「数学的活動」のページが配置されており、考察したり性質を見出したりすることを重点とした内容が設けられている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では、日常生活から疑問や発見したことを取り上げ、「？」で生徒に投げかけている。生徒が単元を学ぶ意図や意味が分かり、学びの必然性や主体性を高めている。 ・単元の章末には、できるようになったことを具体的に振り返る内容や、発展的な問題も設けられている。 ・「どんなことがわかったのかな」や「次の課題へ！」が設けられている。そこには本時の学びから生まれる課題が記載されており、主体的な学びを促すよう工夫されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「学図プラス」に、アプリ、動画、外部リンク、プログラミングなどが位置付けられている。また、表計算ソフトでのデータの並べかえや四分位数の求め方など、コンピュータを用いた学習ができるような内容になっている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・目標、導入の問題、説明の文章、まとめや次への課題の文章、ノートの記載例など、字体や大きさが読みやすいよう工夫されている。また、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなど配慮されている。 ・環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入では、日常生活から数学の学習に関わる事象を取り上げている。それを解決するために必要な知識や技能、考え方等が身に付けられるよう構成されており、工夫されている。 ・学習の最後には、まとめと次の課題が書かれており、主体的に学習を深めていけるよう工夫されている。また巻末にはSDGsを取り上げ、自分たちにできることが考察できるようにしている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
数学	数学	教育出版

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の基礎的な概念や原理・法則などを理解すると共に、事象を数学化したり数学的に解釈したりするための機会等の設定がされている。また、多くの生徒に見られるつまづきを取り上げたり、基礎・基本の定着を図るための問題ページが十分に設定されたりしている。 ・思考力、判断力、表現力を養うために、学習したことを活用する課題や多様な考え方ができる課題、自分の考え方を説明したり解決の仕方を話し合ったりする課題などが設定されている。 ・「問題を見出そう→問題をつかもう→自分の考えをもとう→友達のを知ろう→みんなで話し合おう→振り返ろう→深めよう」のサイクルが構成されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「数学の広場」や「Let's Try」の中で数学を生活や社会に利用する場面が紹介されたり、日常の事象の考察から数学的活動を始められたりする場面が位置付けられており、生徒の学習意欲を喚起するための工夫がなされている。 ・「学習するにあたって」では、数学の学習の仕方や数学の学習で使いたい数学的な考え方がまとめられている。さらに、ノートの手書き等例示があり、数学の学び方を身に付けることができる配列となっている。 ・「例・例題」と「問い」の間に「たしかめ」が設定されており、「たしかめ」は「例・例題」に書かれていることになって取り組む事ができる。さらに「もどって確認」や「補充問題」が設定されており、家庭でも生徒自身で学習を深めることができる構成となっている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツ「まなびリンク」によって、動的な表現や3Dによる立体表現等を見ることができ、学習内容の理解を補助することができる。また、図形の性質を予想するなどの学習活動のサポートを十分に行うことができる内容となっている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインへの対応やユニバーサルデザインフォントが導入されており、すべての生徒にとって学びやすく使えるよう十分な配慮がされている。 ・目次の「ふりかえり」や巻末の「学びマップ」によって既習の学習内容との繋がりを適切に捉えることができるよう十分な工夫がされている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な例示が随所に取り上げられており、生徒が主体的に学習に向かうことができるよう工夫されている。 ・全学年において身に付けた力を活用したり、身近な生活へと還元させたりすることができる構成となっている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
数学	数学	啓林館

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップの展開にしたり、計算や式の変形などを丁寧に示したりして、十分な理解と定着ができるようにしている。 ・じっくり考えて解決する問題や理由や方法を説明する問題を取り上げ、思考力・判断力・表現力を繰り返し身に付けるよう十分に配慮されている。 ・学習の中で働かせた数学的な見方・考え方をページ下部に掲載したり、既に学んだことと関連付けたり発展させたりする場面を設けたりして、思考力が身に付くように工夫している。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学習に入るとき、生徒の生活体験を重視した身近な題材を多く取り上げて数学への関心を高めたり、関連する既習内容を示したりすることで、生徒がふり返りながら学習が進められるように十分工夫している。 ・主体的・対話的で深い学びを実現するために、学校での学習と家庭等の学習が相互に効果的につながり合うようにするために、2部構成の教科書となっている。 ・活用的な内容、補充の問題等、家庭学習や習熟度別少人数学習等の授業にも活用できるよう十分に工夫されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・3学年いずれも紙面に50個程度の二次元コードを掲載し、ICT機器の利用により、学習の助けになる情報を参照できるようにしている。また、これまでに学んだ内容とプログラミング的思考を融合した課題を取り上げ、伝え方の工夫や解決したい問題に対する改善方法の模索やよりよいものへの改良、既習の知識を活用して新しいものを生み出す経験等ができるように十分工夫されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって、開きやすく、紙面が広く見える「あじろ綴じ」製本形式を用いたり、軽くて印刷が鮮明な用紙を使用したりするなど十分な工夫がなされている。 ・ユニバーサルデザインフォントを使用し、識別しやすい書体を採用している。また、発達段階に合わせた文字の大きさにし、字間・行間等はユニバーサルデザインにしている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・「利用場面→場面の状況を整理して問題設定→見通しを立てて問題を解決→問題を広げ深める」の過程を位置付けた章の構成となっており、数学的活動を重視している。 ・3学年共に、節末、章末の練習問題のページを30ページ以上設け、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得のための配慮がなされている。 ・「数学ライブラリー」で、学習したその章の内容に関連のある身の回りの題材を位置付け、数学のよさを実感できるよう配慮している。

様式2

教 科	種 目	発 行 者
数学	数学	数研出版

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・数多くの例と問を通して、学習内容を確実に理解できるようにし、基礎的・基本的な知識及び技能が身に付くように構成されている。解答例が具体的で丁寧に扱われている。 ・別冊「探究ノート」に学習内容を深めるための課題や日常生活に関わる事柄を取り上げ、発展的に扱う内容を取り上げている。 ・問題を解決するために、教師と生徒、生徒同士が対話をしている場面が位置付けられており、そのやりとりを通して数学的な見方・考え方を働かせ、身に付けられるように工夫されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを利用して身の回りの問題を解決することができる事柄を取り上げ、数学を用いて解決することのよさを感じ得られるようよく工夫されている。 ・巻末に学習の進め方を自分で振り返ることができるチェックリストが掲載されている。また、既習の学び方や解決のポイントを吹き出しで示す工夫がなされている。 ・例の後に問が位置付けられ、学習内容がすぐに身に付けられるよう構成されている。また、既習事項やつまづきやすい計算を詳しく掲載する等の工夫がなされている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、作図の仕方を提示したり問題を解いたりすることができるデジタルコンテンツとリンクする工夫がなされている。また、巻末で暗号やビッグデータ等ICTに関する事柄を取り上げている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい文字の大きさで、解答例は行間がとってあり分かりやすい。ポイントになる部分の文字を太くしたり下線を引いたりする工夫がなされている。 ・表紙、内容ともしっかりとした造本である。また、別冊を設けることで、重量の軽減に努めている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・例が詳しく丁寧に扱われており、大切な部分に下線が引いてあったり吹き出しで書かれていたりすることで、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けられるように配慮されている。 ・日常生活と関連付けたり、発展的な学習に取り組んだりすることができるように構成され、生徒の学習意欲が向上するように工夫されている。

様式2

教 科	種 目	発 行 者
数学	数学	日本文教出版

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・全領域において、「めあて」「例」「問」を配列し、学び方を身に付けることを通して、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる配慮が十分なされている。 ・思考力、判断力、表現力を育むために、数学的活動の場面の横欄に「表現の例」や「大切な見方・考え方」等を設け、生徒の数学的な見方・考え方を働かせる手助けとなるよう工夫している。 ・各単元の内容を徐々に難易度を上げながら定着できるような配列となっている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「Q」のタイトルの内容から学習を始めていく構成は、生徒にとって学びのスタイルを構築しやすい配列となっている。 ・「めあて」「例」「問」「重要事項」の配列構成より、きめ細やかなステップで展開されており、生徒が数学の学びを確立できるような配慮が十分になされている。 ・「次の章を学ぶ前に」から「章の問題」、「とりくんでみよう」まで、各単元において生徒の理解度に応じて、授業中だけでなく家庭においても生徒自ら選択して取り組むことができるような配慮がなされている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年において、「プログラムと数学」が設定しており、プログラミングを体験しながら、プログラミング的思考力・論理的思考力の育成に配慮がなされている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントが採用しており、文字の大きさ、字間、行間、印字の濃さが生徒にとって大変見やすい印刷となっている。環境に配慮した紙や植物油インキを使用するなど、環境やアレルギーに対する配慮がなされている。 ・目次では、本単元の前学年までの既習項目が明示されており、生徒の学習の振り返りが容易であり、学び直しの機会が生徒自ら行える配慮が十分になされている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・「ノートのかふう」により、数学の学び方についての内容が掲載されており、生徒に数学の学びへの指導ができるように工夫されている。 ・「次の課題」により、生徒の学習意欲への喚起につながり、学びの連続性を意識した配列構成となっている。 ・巻末の「対話シート」は、問題解決的学習に活用することができ、生徒の主体的・対話的で深い学びが実現できるように配慮がなされている。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
理科	理科	東京書籍

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する結論を生徒が表現するように位置付けられ、「思考力・表現力」を育むことができる。また、各章末には結論の例が適切に例示されており、自分で確かめることができる。 ・全ての観察・実験において、方法の欄に共通のマークを用いて視覚的に分かるようにする部分と、文章で大事なところを押さえる部分を使い分け、適切に表示されている。 ・既習事項と関連する本文には、下線を付けて学びを振り返りやすくし、学習してきたことを思い出して学びをつなげるよう配慮されている。 ・「理科の見方・考え方」が巻頭・巻末にまとめられているだけでなく、単元の中に何度も「科学のミカタ」として位置付けられており、学び方のポイントが的確に示されている。 ・探究の過程を振り返ることができるように、「探究をふり返ろう」や章ごとに「Before&After」を適切に位置付け、自分の学びの成長を実感することができる。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・どの単元においても日常生活の疑問や問題を取り上げており、生徒が主体的に学習に取り組むための思考の流れを大切にしている。また、「つながる科学」「世界につながる科学」というコラムの中で、学習した内容と日常生活との関連を適切に表現している。 ・観察・実験の結果については、文章による表記になっていることが多いが、現象の変化などは写真を用いて変化後の様子をとらえられるよう配慮されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭にデジタルコンテンツが活用できる項目一覧が表示されていたり、各単元にも「D」マークが適切に位置付けられたりしており、二次元コードでインターネットに接続し、動画やシミュレーションで主体的に学習できるようになっている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・A4スリム版で、豊富な情報量が確保され、厚み、重さとも適切である。 ・美しい自然の写真、分かりやすい観察・実験の写真が多く用いられ、文字の大きさや行間、フォントや配色など、ユニバーサルデザインによく配慮されている。 ・「自由研究」「理科室のきまり」「器具の扱い方」が適切に位置付けられている。また、巻末には、地球領域で学習する空間概念を高めるためのペーパークラフトが付いている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・自然事象に対して、自ら問題を見だし、探究することができる配慮がなされているとともに、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得及び思考力・判断力の向上が期待できる。 ・つまずきやすい内容では、記述がより丁寧に示されるなど、生徒が自学自習する際に、つまずきも克服できるよう配慮されている。 ・文字フォントや色調など、ユニバーサルデザインへの配慮が丁寧であるとともに、観察・実験の手順は、単語の途中で改行されないようにするなど、読みやすい工夫が効果的になされている。

様式2

教科
理科

種目
理科

発行者
大日本図書

調査項目	意見書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> • どの単元においても、課題が記述されている。結論は、その後の解説により記述されているところもある。 • 安全指導は、1種類の「注意」マークと枠囲み（色付き）の記述で解説が示され、適切に理解できる配慮がされている。 • 各単元の導入部分に、1ページ使って「これまで学習したこと」が絵と文で記されているため、既習事項を想起しやすく、活用するのに適している。 • 「理科の見方・考え方」については、課題に見方の要素を取り入れ、自分で考えながら活用できる配慮がされている。 • 各単元末に「探究活動」が位置付けられ、「振り返ろう」マークによって探究の過程を振り返ることにつなげていく配慮がされている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> • 「くらしの中の理科」「Science Press」「Professional」「科学のあしあと」で日常生活や社会との関わりについて多く紹介され、幅広く充実した内容が適切に記述されている。 • 生徒が行う観察・実験の後に「結果の例」として図やグラフ、写真などを掲載し、分かり易く端的にまとめられ、理解しやすい配慮がされている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> • 目次に二次元コードが掲載され、準備されたコンテンツにアクセスすることができ、活用しやすい。また、学習ページにも二次元コードが掲載され、ICTの活用を適切に促す配慮がされている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> • B5版でコンパクト感があり、厚み・重さとも適切である。 • ユニバーサルデザインフォントを使用したり、とらえやすい配色や色分けがされたりして、すべての生徒への対応について配慮されている。 • 巻末資料は、基本的な技能や安全指導についての記載がされている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> • 日常生活や社会との関わりについて、様々な視点から迫るコラムが紹介され、学習したことが幅広く生活や社会とつながっていることについてよく理解できるよう配慮されている。 • 学習内容をさらに深める資料を配置し、理解や習熟の程度に応じて取り組めるようになっている。 • ユニバーサルデザインフォントを使用したり、とらえやすい配色や色分けがされたり、吹き出しの文の改行位置を見やすくしたりするなど、すべての生徒に見やすく、使いやすい配慮がされている。

様式 2

教科
理科

種目
理科

発行者
学校図書

調査項目	意見書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> • どの単元においても、「この時間の課題」として課題が示され、「この時間のまとめ」として、課題に対応した結論の例が端的に分かりやすく示されている。 • 安全指導は、赤色のストップマークを使って示してあり、その中に安全上の注意点が文章で端的に記されている。 • 「ふり返ろう・つなげよう」として、既習事項を単元の導入で全て示しているの、見通しがもちやすい。 • 単位時間の課題に対して、「見方・考え方」が毎時間、具体的に適切に示してある。 • 「振り返り」では、単位時間の導入部分に「しっかりふり返り」、終末部分に「ふり返りポイント」として位置付けられているため、その視点を参考にして振り返ることができるようになっている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> • 「ミッションX」「サイエンスカフェ」で、日常生活につながりと学びに必然をもたせている。 • 「結果の扱い」では、生徒が行う観察・実験の後に「結果・考察」のページを位置付け、結果の例を文章、数値、写真で適切に示してある。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> • 二次元コード教材として、基礎的・基本的な学習内容の定着がなされるように、学習のまとめや単元末問題や基礎問題が設けられ、家庭学習に活用できるようになっている。「Can Do List」で学習した内容を、穴埋め式の形で振り返られる点は確実な知識の獲得によく配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> • 厚み、重さは、A B変型版で大きく感じるが、厚さも薄く軽いため、持ち運びによく配慮されたものになっている。 • 読みやすさでは、ユニバーサル書体が使用され、写真も大きく示してある。 • 巻末資料は、アイデアボードとしてホワイトボードに自由に考えを書き消しできるような工夫がされている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> • 単位時間ごとに目的意識をもって学習できるように配慮され、さらに、身に付けていく知識や技能がまとめの部分などに短文で例示されるなど、思考力、表現力、判断力を育むよう配慮されている。 • 二次元コードで様々なサイトや単元ごとの振り返りのシートなどとリンクしてあるため、家庭学習の充実も図れるようにしてある。 • 写真や図版が多く使用され、また、見やすいように大きく掲載されているため、誰にでも使いやすくなっている。

様式2

教科
理科

種目
理科

発行者
教育出版

調査項目	意見書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する結論を端的な言葉で示すとともに枠で囲んであり、分かりやすく表現されている。 ・禁止、注意、指示と3つの区分で安全指導の重点がよく示してある。 ・单元ごと、章ごと、本文のところどころに既習事項を配置することで、予想などが立てやすいようによく配慮されている。 ・キャラクターやイラストによる会話を通して、理科の見方・考え方のヒントを、観察・実験の仮説や計画の場で多く記されている。 ・探究の振り返りポイントを、キャラクターの吹き出しの中に示してある。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「ハローサイエンス」で、日常生活や社会との関わりを紹介している。 ・必要に応じて、観察・実験後に、文章、数値、写真等で結果例を示している。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「まなびリンク」マークや二次元コード等を付し、ICT活用を促している。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・A B変型版で、見た目も持った感じも、重量感がある。 ・ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザイン、違いがわかりにくいところには色名を記載するなど、よく配慮されている。 ・巻末には、基礎技能の説明が記載され、基本的な知識・技能の定着を図る内容に、十分配慮されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・生活経験や既習内容などを根拠として、課題に対する仮説を立てる場面や仮説を検証するために行う観察・実験の計画を立てる場面を、丁寧に扱っている。 ・章や節の最後で学習を振り返る「要点チェック」を設定し、細かいまとまりごとに、学習した内容を復習することができるよう配慮されている。 ・発達段階を考慮した文字サイズ、カラーユニバーサルデザインなどにより、使用しやすくなっている。

様式2

教科
理科

種目
理科

発行者
啓林館

調査項目	意見書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する結論は、実験結果とともに文章中で述べられている。 ・安全指導は、8種類の「安全マーク」と「注意マーク」、文章による説明が明記されている。マークと記述を併用して適切な安全指導がされている。 ・観察・実験で必要となる既習事項の知識や技能を適切に取り上げ、生徒が主体的に見通しをもって学習を進められるように配慮されている。 ・理科の見方・考え方は、キャラクターの吹き出しを通してヒントを示している。 ・すべての観察・実験に「探究のふり返し」を位置付け、仮説や計画の妥当性を吟味したり、新たな課題を探したりして、課題解決の力を高めることができるよう適切に配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇ラボ」（深める、部活、料理、防災・減災、仕事）で日常生活や社会との関わりを幅広く紹介し、生徒が興味をもって読んだり、日常に生かしたりできるよう適切に配慮されている。 ・観察・実験の結果は、必要に応じて、生徒が行う観察・実験の後に、文章、数値、写真等で示している。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・各学習内容のページに、デジタル教材にリンクできる二次元コードが十分掲載され、生徒が自らICT機器を活用して学習できるように適切な配慮がされている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・A B変型版で、広げたときに見やすくなっているが、見た目も持った感じも重量感がある。 ・写真、図版が多く用いられ、文字の大きさやフォントだけでなく、行間や余白、認識しやすい色づかいなど、適切に配慮されている。 ・巻末資料の内容が充実している。生徒が探究の仕方や理科の話し方を身に付け、主体的・対話的で深い学びができるように十分に配慮されている。また、文献を引用した場合の書き方が掲載されており、著作物の扱いを意識させるものとなっている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の見方・考え方を育みながら、生徒が主体的に学習を進められるように配慮されている。 ・豊富なデジタル教材により、生徒がICTを活用して家庭でも学習できるように配慮されている。 ・文字フォントや色調、レイアウトなど、ユニバーサルデザインへの配慮が十分にされており、読みやすい。

様式 2

教科
音楽

種目
一般

発行者
教育出版

調査項目	意見書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 各教材の学習内容を「学びのポイント」として示している。また「ACTIVE!」のページにおいては、曲想と音楽の構造との関わりを明確にし、知識を身に付ける学習が取り上げられている。 歌う、創る、聴くといった領域や分野ごとに教材が配列されている。また、主要教材と、主要教材の補充、深化を図ることができるよう教材が構成され、学習のねらい、学びのヒントなどを「学びユニット」としてまとめ、題材構成されている。 どのような音楽のよさや美しさを感じ取ったのか、また音楽表現をどのように創意工夫するのか、一人一人が知覚、感受したことをまとめる「話し合おう」のコーナーがあり、思考、判断、表現する学習が配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 音の振動や三要素の記述、作曲家の思いの紹介から、音や楽曲への興味関心を高める内容が取り上げられている。また、コンピュータと音楽の関わり、アウトリーチ、音楽を通した学校での教育活動、音楽療法等を扱い、音楽を生かした仕事や活動、音楽のもつ力について考えることができる配慮がされている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 民謡や長唄、能の謡などの学習では、文字等で示された楽譜を掲載し、歌いながら特徴やよさを感じられるような工夫が見られる。また、我が国の伝統音楽と諸外国の様々な音楽の特徴を比較する学習が設けられており、共通点と相違点に気づき、音楽の多様性について理解することができるよう配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさや重量は、全学年同じであり、ページが少なく軽い。また、無線綴じ方式が採用され、丈夫である。 楽譜が大きく記載されている。また、UD フォントが使用されており、特別支援教育の視点において配慮がなされている。 目次は、歌唱、創作、鑑賞の内容を色分けしており、活動ごとにまとめて記載することで、どのような活動をするのか分かりやすいよう十分に配慮されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> 主要教材を基に、補充・深化を図ることができる教材を配列し、学習のねらいや学びのヒントを明確にした題材の構成により、教材と関わらせながら知識や技能を身に付けられるよう配慮されている。 人々の暮らしとともに音楽文化があり、様々な特徴をもつ音楽が存在していることに気づき、音楽の多様性について理解することができるよう配慮されている。

様式 2

教 科
音楽

種 目
一般

発行者
教育芸術社

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 各教材において、学習目標や、具体的な活動文が例示されている。また「深めよう！音楽」では、音楽を形づくっている要素などの働きについて実感を伴いながら理解し、表現に生かすことができるよう、十分配慮されている。 「学びの地図」には、全ての教材について、三つの資質・能力に基づき、「何を学ぶのか」が明確になっており、学年間の学びが系統的、発展的になるよう配慮されている。また「音楽を形づくっている要素」も明確になっており、この「音楽を形づくっている要素」を要としながら、題材が構成できるよう配慮されている。 各教材には、思考、判断の拠り所となる、音楽を形づくっている要素が明確に位置付いており、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図ることができるような、思考、判断、表現する過程を大切にした学習が十分配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 活躍中の音楽家や伝統芸能に携わる人々の生き方や考え方をコラムで掲載するなど、音楽について自ら考え、視野や価値観を広げられるような内容が取り上げられている。また、音楽の果たす役割、アウトリーチ、音楽に関わる仕事の紹介や震災復興支援曲等、音楽が生活や社会に役立つことについて考えられる内容を取りあげる配慮がされている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 民謡や長唄、能の謡などの学習では、絵譜を用いて節や節回しの特徴を視覚的にとらえたり、「演奏者のアドバイス」において気を付けることが具体的に示されたりして、日本の伝統音楽の特徴やよさを音楽活動を通して十分に理解できるよう配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の大きさや重量は、全学年同じである。また、糸綴じ方式が採用されており、本の根元まで見開きしやすい。 UD フォントが使用されており、特別支援教育の視点において、配慮がなされている。 目次は、歌唱、創作、鑑賞の内容を色分けしており、どのような活動をするのかが分かるように構成されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の指導事項と各教材との関連を明確にし、音楽科で育成したい資質・能力を3年間で確実に育むことができるよう、系統的、発展的な学習内容が配慮されている。 我が国の伝統文化や芸能、生活や社会の中の音楽について身近に感じるような学習を位置付けることにより、音楽で生活を豊かにする心を育むことができるよう配慮されている。

様式2

教 科	種 目	発 行 者
音楽	器楽合奏	教育出版

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器の特徴などの知識や、表現活動をするための技能を確実に身に付けられるよう多くの写真を用いている。また手元や口元を特に大きく写し、確かめながら技能を身に付けることができるよう配慮されている。 ・ 器楽と創作や鑑賞の学習との関連が図れるような教材が適切に位置付いている。 ・ 「吹く楽器」と「弾く楽器」の区切りには、視点を基にそれぞれの楽器の特徴や音色を聴く活動を通して比較しながら、音楽の共通点と相違点を考え、自分なりにまとめる学習が適切に位置付いている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭や巻末の口絵において、世界の様々な楽器や、奏法の写真、音楽家からのメッセージが掲載され、生徒の器楽の学習への関心や意欲につながるような内容が取り上げられている。また、「吹く楽器」と「弾く楽器」の発展的な学習として、世界の様々な「楽器の仲間たち」が掲載され、音楽文化に親しむことができるよう配慮されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「篠笛」「尺八」「箏」「三味線」「太鼓」といった和楽器の学習の冒頭では、それぞれ演奏している写真を大きく掲載し、生徒が和楽器に関心をもてるよう配慮されている。また、各楽器の奏法を身に付けるための練習曲が多く、生徒が親しみやすい楽曲も構成されている。楽器を演奏しながら楽器固有の音色に触れ、よさを味わいながら学習を進めることができるよう配慮されている。 ・ 各楽器の唱歌や解説、唱歌を交えた楽譜が位置付けられ、我が国の伝統音楽に親しむことができるよう配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の大きさや重量は、全学年同じであり、ページが少なく軽い。また、無線綴じ方式が採用され、丈夫である。 ・ UD フォントが使用されており、特別支援教育の視点において、配慮がなされている。 ・ 巻末には、教科書で習う記号や用語などの楽典が一覧になって掲載されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・ 器楽の学習において、それぞれの楽器固有の音色や響きが生み出す特質や雰囲気を感じ、感受したことと奏法との関わりを自分なりに捉えていくことができるよう学習内容が配慮されている。 ・ 楽器固有の音色や響きを生かしたり、習得した知識や技能を活用したりして、音楽を創ったり、鑑賞したり、幅広い音楽活動を通して学ぶことができるよう配慮されている。

様式2

教 科	種 目	発 行 者
音楽	器楽合奏	教育芸術社

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器固有の音色や響きを様々な奏法で試し、音色や響きを比較しながら、実感を伴って理解できるような音楽活動が工夫されている。また、「弾いてみよう」では楽器固有の音色や響きを確かめながら技能が身に付くよう、学習活動が十分に配慮されている。 ・器楽と創作の学習との関連が図れるような教材が位置付いている。 ・「深めよう！音楽」では、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するとよいか思いや意図をもつ活動が十分配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には、様々な国の楽器や奏者の写真や、音楽家のコラムがあり、楽器や音への関心を高めるような内容が掲載されている。また、巻末には同じ中学生が和楽器を通して様々な活動に取り組んでいる資料が掲載されており、生活や社会と音楽とのつながりを実感できるよう配慮されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「箏」「三味線」「太鼓」「篠笛」「尺八」といった和楽器の学習の冒頭には、関わりのある様々な伝統芸能を聴く活動が位置付いており、生徒の関心を高めるとともに、理解を広げることができるよう配慮されている。また、各楽器の奏法を身に付けるための練習曲が多数掲載され、容易な曲から順に高度な技法を必要とする曲へと教材が配列されており、楽器固有の音色や響きを十分に味わいながら確実に技能を身に付けることができるよう配慮されている。 ・各楽器の唱歌の解説と唱歌を交えた楽譜、唱歌を口ずさむ学習活動が位置付けられ、我が国の音楽に固有の音色や旋律、間などの知覚・感受を促す学習によって、我が国の伝統音楽を親しみ、理解することができるよう十分配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の大きさや重量は、全学年同じである。また、糸綴じ方式が採用されており、本の根元まで見開きしやすい。 ・UD フォントが使用されていたり、背景が白で統一されていたりして、視認性の高い構成となっている。 ・巻末資料は、大きさや色使いが工夫されている。また、楽器を分類した図鑑が見開きであり、楽器の特徴に気づくことができるような見やすさの工夫がなされている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽の学習において、それぞれの楽器固有の音色や響きが生み出す特質や雰囲気を感じ、感受したことと奏法との関わりを実感を伴って理解できるよう配慮されている。 ・和楽器の音色や響き、奏法の特徴など、実際に演奏したり表現したりする活動を段階的に取り入れ、我が国の伝統音楽のよさを味わうことができるようになっている。

様式 2

教 科
美術

種 目
美術

発 行 者
開隆堂出版

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> すべての題材ページに、育成すべき「資質・能力の三つの柱」に基づいた「学びの目標」が端的な言葉で明示されている。 掲載作品と合わせて、「作者の言葉」「アイデアスケッチ」などが掲載されており、発想や構想、表現方法の手がかりをつかめられるよう配慮されている。 用具や技法などの資料として、各冊の巻末に「学びの資料」を掲載し、生徒が補充的に学習しやすいよう配慮されている。 表現活動における交流の様子を写真で載せ、言語活動を図れるよう配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 各題材に掲載されている二次元コードからは様々なWEBコンテンツや作品を所蔵する美術館などにリンクされており、生徒の主体的な鑑賞活動に活用できるよう十分に配慮されている。 鑑賞活動で活用できるように大きな写真を掲載したり、二次元コードの位置付けにより参考作品を閲覧できるようにしたりすることで、生徒が意欲を喚起するよう配慮されている。 発想の手立てや制作の手順を紹介するコラムの掲載によって、生徒が見通しをもって主体的に学習を進めていけるよう十分に配慮されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県にかかわる文化財や作品として「多治見市モザイクタイルミュージアム」「岐阜県現代陶芸美術館」「岐阜提灯」が掲載されている。 学びの資料に「映像メディアを活用する」を例示し、論理的な思考を育てるプログラミング教育の必須化について配慮されている。 用具の安全な使い方や配慮すべき内容がわかりやすく明示され、安全面の指導について十分に配慮されている。 2・3年生ではSDGsを取り上げ、持続可能な開発のための未来の社会や生き方を考えられるように配慮がされている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> 文字や図版は鮮明で、解説はポイントの大きな文字を使い、生徒が見やすいよう十分に配慮されている。 カラーユニバーサルデザイン、UDフォントなど誰にとっても活用しやすいよう十分に配慮されている。 原寸大（伊藤若冲・ゴッホ・ダリ・雪文鉢）や部分を拡大した資料があり、詳しく鑑賞することができるように配慮されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードによる情報提供が75点と最も多く、生徒の学習意欲を喚起しようとする工夫が見られる。 1年生では「多治見モザイクタイルミュージアム」、2・3年生では「岐阜提灯」「（現代陶芸美術館収蔵作品）南蛮夢想」と2冊ともに、岐阜県ゆかりの作品を掲載している。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
美術	美術	光村図書

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての題材ページに、身に付ける力や学習のねらいが示された「目標」が生徒に伝わりやすい言葉で明示されている。 ・掲載作品と合わせて、作家の言葉やアイデアスケッチ、生徒の制作過程が掲載されており、発想や構想を広げ深め、表現への手がかかりをつかめられるよう十分に配慮されている。 ・用具や技法などの資料として、各冊の巻末に「学習を支える資料」を多く掲載し、巻末資料等に促す「資料」マークが適切に位置付き、生徒が補充的に学習しやすいよう十分に配慮されている。 ・表現活動における交流の様子の写真を多くの題材で載せ、言語活動を図れるよう配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすい作品が多く選定されていたり、生徒の制作過程を詳しく紹介したページが掲載されたり、生徒が意欲をもって主体的に学べるよう配慮されている。 ・鑑賞活動で活用できるように大きな写真を掲載したり、和紙の風合いを生かしたページや直接書き込みのできるページを挿入したりすることで、生徒の意欲を喚起するよう十分に配慮されている。 ・表現と鑑賞の相互関係を意識し、一題材で「表現」と「鑑賞」を一体的に学べるように構成されるとともに、コラムの掲載により他領域とつなげながら学ぶことができるよう配慮されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県にかかわる文化遺産や作品として「美濃和紙の卒業証書」、「白川郷の合掌造」が掲載されている。 ・学習を支える資料に「映像で広がる世界」を例示し、論理的思考を育てるプログラミング教育の必須化について配慮されている。 ・用具の安全な使い方や配慮すべき内容が示され、安全面の指導に配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や図版は鮮明で、使用されているアイコンやマークは誰もが識別しやすいよう十分に配慮されている。 ・カラーユニバーサルデザイン、小さい文字にUDフォント、ルビ、規則正しいレイアウト、色相環の色名など誰にとっても活用しやすいよう十分に配慮されている。 ・作品ページが記された美術史年表や原寸大資料（阿修羅像・クレイ・鳥獣戯画）があり、詳しく鑑賞することができるよう十分に配慮されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの題材に対するページの割振りを多くしながらも「鑑賞から表現、再び鑑賞」という展開で構成することで、一体的に学ぶ工夫がある。 ・題材の終末に位置付くコラムや巻末資料の充実により、生徒自身が他教科と関連付けて学ばせようとする編集意図が伝わる。

様式 2

教 科	種 目	発 行 者
美術	美術	日本文教出版

調 査 項 目	意 見 書
1 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての題材ページに、育成すべき「資質・能力の三つの柱」に基づく「学びの目標」が生徒に伝わりやすい言葉で明示されている。 ・掲載作品の「作者の言葉」や「アイデアスケッチ」、発想や構想のヒントとなる「情景写真」や「ワークシート」などが数多く掲載されており、発想や構想を広げ深め、表現への手がかりをつかめられるよう十分に配慮されている。 ・用具や技法などの資料として、各冊の巻末に「学びの資料」を掲載し、巻末資料等に促す「矢印」マークが適切に位置付き、生徒が補充的に学習しやすいよう十分に配慮されている。 ・表現活動における交流の様子の写真を載せ、言語活動を図れるよう配慮されている。
2 主体的に学習に取り組む態度の育成にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを生み出す中心的な発問の手がかりとなる「造形的な視点」が掲載されており、生徒が見通しをもって主体的に学べるよう十分に配慮されている。 ・鑑賞活動で活用できるように大きな写真を掲載することで、生徒の意欲を喚起するよう配慮されている。 ・作家の発想方法の紹介、活動の写真、教科書での学び方、各領域との出会いの解説など学習の進め方や取り組み方を示し、主体的に学習に取り組むことができるよう十分に配慮されている。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県にかかわる文化財として「多治見市モザイクタイルミュージアム」「白川郷」が掲載されている。 ・デザイン・工芸題材として「人が生きる社会と未来」「映像を使って情報を伝える」、学びを支える技法として「動画をつくる」を例示し、論理的な思考を育てるプログラミング教育の必須化について十分な配慮がなされている。 ・用具の安全な使い方が示され、安全面の指導に配慮されている。 ・2・3年上ではSDGsを取り上げ、持続可能な開発のための未来の社会や生き方を考えられるよう配慮されている。
4 印刷・製本等にかかわること	<ul style="list-style-type: none"> ・「3年間の発達の段階に即した学び」を重視し、各学年の発達段階に応じて美術の学びを深められるよう3分冊構成となっている。 ・文字や図版は鮮明で識別しやすいよう十分に配慮されている。 ・カラーユニバーサルデザイン、UDフォントを使ったタイトル、色相環の色名など活用しやすいよう十分に配慮されている。 ・原寸大資料（土偶・真珠の耳飾りの少女・浮世絵・誕生・火炎型土器）があり、詳しく鑑賞ができるよう十分に配慮されている。
5 総評	<ul style="list-style-type: none"> ・2、3年の教科書を上下に分け、発達段階に応じてテーマを設定したことにより生徒にとってわかりやすい構成である。 ・総ページ数が多く、題材掲載数は60題材と最も多いため、学校の実態に応じた活用や、生徒の学びを発展させることが期待できる。

